

跳びはねてもいい音楽会

と跳びはねてもOK!
くるまいす
車椅子やストレッチャーでゆった鑑賞

うれしい声を上げてOK!
こえあ
からだいっぱい音楽を楽しもう!
おんがく
たの

切り絵/ fuki.artree

バリアフリーな 取り組み

点字プログラム、読み上げ用テキスト、手話通訳、UDトーク、FM補聴援助システム
鑑賞スペース(車椅子・ストレッチャー・フロアマット・クールダウン)、看護師待機
※公演中も客席は明るいまです。※補助犬と一緒にご入場いただけます。
※途中の休憩はありませんので演奏中の出入りはご自由に行ってください。
※特別な配慮やサポートが必要な方は事前にお問合せ先にご相談ください。



ゲスト ホルン
オンドジェイ
ヴラベツ
(チェコ・フィル首席)



ピアノ
下里 豪志



フルート
泉 真由



オーボエ
鈴木 純子



クラリネット
澤村 康恵



ファゴット
垣内 紀子

W.A.モーツァルト

ピアノと管楽のための五重奏曲 変ホ長調 K.452

F.プーランク

木管五重奏とピアノのための六重奏曲

中川 良平

ピアノと木管五重奏のための6つの日本民謡

※都合により曲目が変更されることがありますので、予めご了承ください。

[チケット]全席自由席

一般 2,500円 / 大学生以下 1,500円 (税込、当日券は各400円増)

介助者1名まで無料

琉球フィルチケットサービスへお申し込みの上、
当日障害者手帳のご提示をお願いします。

[プレイガイド] デパートリウボウ / コープあぶれ

[チケット購入] 琉球フィルチケットサービス teket イープラス

[お問い合わせ] ☎ 080-6489-3048 (琉球フィルチケットサービス)

✉ ticket@ryukyuphil.org

2025年 11月2日(日)

10:30開演(9:30開場) 終演予定12:00頃

さわふじ未来ホール 西原町民交流センター
(西原町字小波津555)

■主催/一般社団法人 琉球フィルハーモニック

■後援/沖縄県、沖縄県社会福祉協議会、沖縄県医師会、沖縄県身体障害者福祉協会
沖縄県聴覚障害者協会、沖縄県視覚障害者福祉協会、沖縄県手をつなぐ育成会
琉球新報社、沖縄タイムス社

■協力/琉球補聴器



「跳びはねてもいい音楽会」について

「跳びはねてもいい音楽会」は、障害の有無や年齢に関係なく、だれもが共に音楽を楽しむ共生型音楽会です。琉球フィルは2019年から、文化庁の事業として音楽や福祉などの専門家や障害当事者とともに「ゆいまるミュージックプロジェクト」を組織し、障害のある方やその家族、関係者が安心して音楽を楽しめる環境づくりを行ってきました。その取り組みとして「美らサウンズコンサート」を県内各地で開催し、その経験やノウハウを全国に発信しています。本公演は、これらの実績をもとに開催しています。

演奏者紹介

オンドジェイ・ヴラベツ (Ondřej Vrabec) / ホルン



オンドジェイ・ヴラベツ (1979~) は、チェコ音楽界において並外れた人物である。チェコ・フィルハーモニー管弦楽団にて弱冠20歳で首席ホルン奏者に就任し20年以上務める傍ら、室内楽奏者、ブラハ芸術アカデミーのホルン科講師、カルロヴィ・ヴァリ交響楽団の首席指揮者として、芸術家としてのキャリアを順調に進めている。ブラハ音楽院 (B. ティルシャル教授、V. ヴァーレク教授、H. ファルカッチ教授、M. ネムツォヴァ教授、M. コシュラー教授) およびブラハ芸術アカデミー (R. エリシュカ教授、J. ビエロフラーヴェク教授、F. ヴァジナル教授など) を卒業。ブラハ音楽院在学中にオストラヴァで行われた学生音楽コンクールにてホルン奏者として総合最高得点で優勝 (Absolute Winner)、室内楽奏者としてコンチェルティノ・ブラガ、モーツァルト協会コンクールなどで数々の栄誉ある称号を得る。指揮者としては2007年のブラハの春と2015年の東京国際指揮者コンクールで奨励賞を受賞。2020年の第1回アルトゥール・ニキシュ国際指揮者コンクールで第3位、2021年の第1回ハンス・フォン・ビューロー国際指揮者コンクールで第2位と特別賞を受賞。ソリストとして、サー・ジョン・エリオット・ガーディナー、エド・デ・ワールト、ウラディーミル・アシュケナージ、イラン・ヴォルコフ、リュ・ジア、ヨハネス・カリツケ、ブルーノ・フェランディスなどの指揮の下、国内外の多くのオーケストラ (チェコ・フィルハーモニー管弦楽団、ロイヤル・フランダース・フィルハーモニー管弦楽団、名古屋フィルハーモニー管弦楽団、バイエルン室内管弦楽団、北京国立管弦楽団、ルクセンブルク・ソリスト・ヨーロッパ管弦楽団、アウクスブルク・フィルハーモニー管弦楽団、コシツェ・フィルハーモニー管弦楽団、オストラフスカ・バンド、ジェシュフ・フィルハーモニー管弦楽団、リヴィウ・フィルハーモニー管弦楽団など) と共演。また、ソロリサイタルもこれまでに多々行ってきた。指揮者としても、チェコ・フィル、現在首席指揮者を務めるカルロヴィ・ヴァリ交響楽団を始め、日本フィルハーモニー管弦楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、ブダペスト・ドホナーニ管弦楽団、レイキャビク室内管弦楽団、コシツェ国立フィルハーモニー管弦楽団、ロンドン・ソロイスト室内管弦楽団、デンマーク国立交響楽団、オラデア国立フィルハーモニー管弦楽団、ウージュホロド・フィルハーモニー管弦楽団、リヴィウ・ヴィルトゥオーゾなどのオーケストラと競演している。また、教育活動にも熱心に取り組んでおり、ブラハ芸術アカデミーでの指導に加え、マスタークラスを頻繁に開催している (日本、カナダ、イギリス、チェコ共和国など)。使用楽器はヨゼフ・リドル社と共同開発した LHR 883「トリビュート」。

ピアノ / 下里 豪志



沖縄県出身。10歳よりピアノを始める。2017年皇居内桃華楽堂にて御前演奏、その後イタリア・フランスに留学。これまでにレオニード・マルガリウス、パスカル・ロジェ、横山幸雄、久保春代、中島彰、宮本玲奈、有森博、糸数ひとみ、宇江喜幸、比嘉とも子に師事。伴奏法をカロリーヌ・エスポジトに学ぶ。主な受賞歴に第27回エビナル国際ピアノコンクール第3位及び聴衆賞受賞。パリにて第98回レオポルト・ベラン国際音楽コンクールにて第一位を受賞しCapfelet音楽祭に招聘される。オーケストラ共演も多く、イモラ音楽院・キジアーナ音楽院共催のベートーヴェンピアノ協奏曲全曲演奏会シリーズに学長推薦を受け第2番を演奏。日本トランスオーシャン航空の協力のもと沖縄を中心に演奏活動を展開する傍らテレビや新聞などのメディアでも多く取り上げられ、第55、56回沖縄タイムス芸術選奨助賞を受賞。8年の留学を経て2025年秋帰国。

泉 真由 / フルート



高知県出身。桐朋学園大学を首席で卒業。卒業演奏会、読売新人演奏会に出演。同大学研究科、桐朋オーケストラアカデミー研修課程修了。第13回日本フルートコンベンションコンクールソロ部門第1位、併せて吉田雅夫賞受賞。第21回日本木管コンクール第2位。第19回同コンクール第3位。(一財)地域創造公共ホール音楽活性化事業(おんかつ)登録アーティストとして、クラシックギターとのデュオで全国各地でリサイタルとアウトリーチ活動を行っている。これまでに3枚のCDをリリース。レコード芸術特選盤。全国各地でバリエーションリサイタルツアーを行い好評を得る。日本コロムビアOpus oneシリーズ”月に憑かれたピエロ”に参加。2019年より琉球フィル客演首席フルート奏者を務め、全国のオーケストラに客演する傍ら、桐朋学園大学、洗足学園音楽大学、東邦音楽大学で講師を務め、後進の育成にも力を入れている。第9回かわさき産業親善大使。

オーボエ / 鈴木 純子



東京藝術大学附属音楽高等学校を経て、東京藝術大学音楽学部器楽科卒業。東京藝大同声会主催新人演奏会に出演。卒業後、神奈川フィルハーモニー管弦楽団に入団。1997年から1998年にかけてアフィニス文化財団海外研修員としてフランスに留学。神奈川フィルにおいて、J.S.バッハ/ヴァイオリンとオーボエのための二重協奏曲、モーツァルト/オーボエ協奏曲、協奏交響曲、ハイドン/協奏交響曲などのソリストをつとめる。オーボエを満ち由美子、梅原美男、井口博之、河野剛、北島章、小島葉子、J.L.カベツツアリの各氏と、京都フランスアカデミーにてM.ブルグ氏に師事。現在、神奈川フィルハーモニー管弦楽団首席オーボエ奏者。

澤村 康恵 / クラリネット



兵庫県立西宮高等学校音楽科卒業。東京藝術大学音楽学部卒業、同大学大学院修了。第9回日本管打楽器コンクール第1位。第63回日本音楽コンクール第1位。これまでに、宮崎国際音楽祭、サイトウキネンフェスティバルオーケストラ他、数多くの音楽祭に参加。2014年には、ハバナ・マルティ劇場にて行われた日本キューバ交流400周年記念公演に出演。ザ・クラリネット・アンサンブルのメンバーとして、「楽典の時」「アメリカ」「インプレッション」「きらきら星変奏曲Ⅱ」「クラリネットラプソディー」他のCDをリリース。トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニアの首席奏者としても活躍している。2002~2016年まで新日本フィルハーモニー交響楽団に在籍、元副首席奏者。現在、沖縄県立芸術大学教授、武蔵野音楽大学非常勤講師、日本大学芸術学部非常勤講師として、その情熱を後進の指導に注ぐかわら、ソリスト、室内楽奏者など多岐にわたる活動を展開している。

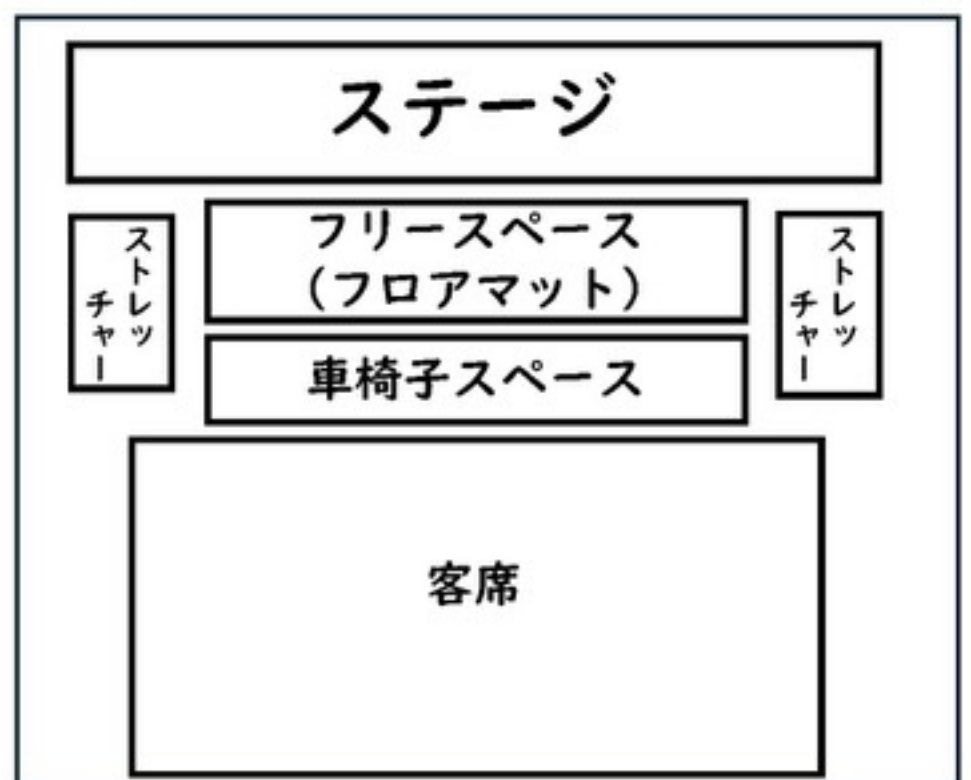
ファゴット / 垣内 紀子



13歳より吹奏楽部にて、ファゴットを始める。福島県立白河高等学校卒業。東京音楽大学卒業。在学中に第4回東京音楽大学コンクール管打楽器部門第1位。学内オーディション合格者によるソロ室内楽定期に出演。2007年~2010年、佐渡裕氏監督の兵庫県立芸術文化センター管弦楽団に在籍。2010年アフィニス夏の音楽祭山形に参加。2011年9月~2012年4月まで新日本フィルハーモニー交響楽団契約団員を務め、その後ドイツベルリンに留学。元ベルリンフィルハーモニー管弦楽団のMorBiron氏に師事。帰国後は、フリーランスとして在京オーケストラの客演奏者や室内楽を中心に活動。これまでに、霧生吉秀、水谷上純、太田茂、故・菅原峰各氏に師事。ファゴット4重奏団「Dカルテット」メンバー。



ご観賞場所



公開リハーサルのご案内 (参加無料)

11月1日(土) 18:00~19:00
さわふじ未来ホール (西原町民交流センター)
対象: 小学1年生~高校3年生 (保護者2名まで)
「琉球フィル友の会」会員
お申し込み: QRよりお申し込みください。(先着50名)

公開リハ申し込み

